

No. **29** 号
2022年11月号
(令和4年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ……平塚市情報 令和5年度市民活動推進補助金の募集開始
- P.2 ……団体レポート 被害者に寄り添って活動する、一般社団法人『OHANA』
- P.3 ……お役立ち情報
- P.4 ……センター情報

団体
レポート

「あきらめないで！ あなたは一人じゃない」 被害者に寄り添って活動する、一般社団法人『OHANA』



平塚市情報

令和5年度 市民活動推進補助金の募集開始



平塚市市民活動推進補助金は、市民による公益的活動を、補助金の交付によって支援する制度です。令和5年度補助希望団体の募集を開始します。

活動を始めたい！ 発展させたい！ 補助金を活用したい！ という市民活動団体・地域活動団体の皆さま、申請お待ちしております。

※応募方法等は市ウェブを御参照ください

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html

問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 ☎ 21-9618



アクセス！

団体
レポート

「あきらめないで! あなたは一人じゃない」 被害者に寄り添って活動する、一般社団法人『OHANA』



「一般社団法人 OHANA」は、全ての性被害（民事、刑事問わず）とそれに伴う二次被害の防止及び孤立防止、被害後に、被害当事者が安心して心身の回復、社会参加しやすい社会を実現することを目指して取り組んでいます。

令和2年12月に女性の為の週末緊急シェルター「OHANA Light」を開設し、今年4月にはものつくりをツールとして、ゆっくり過ごせる女性のための居場所となるアトリエ「OHANA LABO」を開設しました。代表理事の赤松未来さんに活動の様子をうかがいました。

■団体設立の経緯

代表理事である赤松さんが被害に遭った8～9年前は、神奈川県には性犯罪被害の公的相談窓口として、ワンストップ支援センター「かならいん」しかありませんでした。また、当時の横浜男女共同参画センターでも、相談窓口を開設したばかりで、横浜市外の当事者は限定的な支援しか受ける事ができませんでした。そこで、一人でも多くの被害当事者が支援からこぼれ落ちてしまわないように、被害の事を話さなくても安心して過ごせる場所が必要であると考え、赤松さんは、神奈川県在住のハンドメイド作家数名と、神奈川県社会福祉協議会の協力によって、ものつくりをツールにする事で気軽に参加しやすく、更に中長期支援に繋げていける当事者団体を2016年12月発足しました。その後、平塚に拠点を移して現在に至ります。



●バザーなどで手作りの作品を販売



■アトリエ「OHANA LABO」

相談内容のなかでもっとも多いのは、性暴力、性犯罪という言葉の境界線が曖昧なために、一つの窓口で問題が解決できず、様々な相談窓口を転々とさせられる「たらい回し」という二次被害です。性被害の支援は中長期的に行うことが大切で、その間、身の置き場がない被害当事者が安心していられる場所が必要なのです。さらに相談を聞くだけでは抜本的な解決にはなりません。時間をかけてゆっくり焦らず寄り添っていくことが重要です。

そのために「OHANA LABO」という「居場所」を開設しました。ここでは、小物やアクセサリを手作りしたり、講師として地域の人達を招いたりして交流しています。このような取り組みを通して当事者との信頼関係を築くとともに孤立を防ぎ、心身の回復及び社会復帰へのキッカケを図りたいと考えています。

LABOでは被害者支援だけでなく被害の防止にも力を入れています。健全な情操を育てるためには、幼少時からの家庭における健全な心理教育や性教育がとても大切になります。しかしながら、働く親が増えている現在、そうした親の代わりに地域にいる大人達が協力して、幼いときから話しを聞いてもらえる人が近所にもいるという安心感を体験してほしいと思っています。平日に開室しているので、どなたでも気軽に来てください。

■女性のための週末緊急宿泊シェルター「OHANA Light」

コロナ禍で傷ついた女性の行き場がないと言われていたため、性暴力・性虐待・虐待から逃げられるような緊急な保護施設が必要と感じました。そこで行政などが休日となる土日、祝日に宿泊できる「居場所」として設置しました。

■現状

「LABO」「Light」は3～4人のサポートメンバーが中心で支えています。また、法政大学と協働でソーシャルワーク研究会を立ち上げ、2か月に一度の定例会を運営しています。

助けを求めている人に情報を届けるため、口コミの他に神奈川県社会福祉協議会やひらつか市民活動センター等にチラシを置いてもらっています。維持経費は主に助成金に頼っていますが、現状は苦しく運営の為のご寄附を受け付けています。



●ソーシャルワーク研究会の様子

■これから

小さなことから出来る範囲で被害者を支援し、誰もが安心して生活できる新しい支援体制を追求していきたいです。心が弱った人でも働きたい女性のために就労支援ができるよう当事者のペースに合わせ、ゆっくり寄り添っていきたいと思います。

問合せ先

一般社団法人 OHANA ◆ 電話/070-3998-3503

■取材を終えて

「あなたはひとりじゃない。『OHANA』はどんなあなたでも、生きてほしいと願っています。『OHANA』は、あたたかく耳を傾け、寄り添ってくれます。多くの方に知ってもらいたいと願わずにはられませんでした。(し)

お役立ち
情報

防災座談会を開催しました。

近年、地震及び水害など甚大な被害が増えているように思いますが、日頃の災害への備えは万全ですか？

9月30日の防災座談会で、認定NPO法人 かながわ 311 ネットワークの伊藤代表理事をお招きし、「マンションの被災と災害復興」についてお話を伺いました。マンション防災の貴重な情報がたくさんありましたので整理してみました。



●代表理事の伊藤さん

マンション管理組合と自治会の違い

項目	マンション管理組合	自治会
構成員	区分所有者 (*法律上全員)	居住者 (任意加入)
目的	共有財産の維持管理	居住者相互の親睦や地域活動

*法とは「建物の区分所有等に関する法律」です。

マンションの仕組み

区分所有者の構成員で形成される「管理組合」と、管理組合から委託されている「管理会社」で構成されているのが一般的です。管理会社は管理組合から業務委託を受けて事務管理、設備管理など補助的役割を担っています。尚、管理組合の意志決定機関は「総会」となります。例えば、災害などでマンションの共用部分が被害を受けた場合、その補修には管理組合の合意が必要で、それに伴う資金が調達できないと長期化してしまいます。

マンションは戸建てよりインフラ被害に弱い

停電するとエレベーター、機械的駐車場の停止などが考えられます。エレベーターが使用できない場合は、介護サービスが使えない・高層階ほど買い物に不便など、戸建てとは違った影響があります。また、給水塔の被害により周辺が解消されても復旧まで長期化することも考えられます。

居住部分の被害

マンションの構造被害は戸建てより軽微（外観ではわからない）ですが、高層階の居住部分は揺れが激しいため内部の被害が大きいです。



住民共助不足による生活困難

マンション内の共助体制、地域との連携が脆弱なため情報が入りにくい事が考えられます。

マンションで在宅避難を送るポイント

マンションに限ったことではありませんが、家具の固定など耐震対策やカセットコンロを用意するなど安全に籠ることができる方策を考えましょう。

マンション自主防災活動

いざという時に適切な行動が取れるように、日頃から自主防災を意識し防災に必要な知識を身につけたいです。また、地域の住民同士が連携してスムーズな防災活動の基盤となるものが自主防災組織です。一般的には各自治会単位で自主防災組織をつくることが多いようですが、マンション防災を考えるとマンションごとに建物の特徴など特殊性があるので、独自の自主防災組織があることが望ましいです。

マンション防災の基本は住民一人ひとりが、自分たちのマンションは自分たちで守るという意識が大事です。そのために住民同士が連携して災害時の自助と共助を有効に行うための組織づくりが大切とのことです。



●座談会の様子



ひらつか市民活動センターでは毎年、関係機関の皆様と防災連携について情報交換を行っています。当日は平塚市社会福祉協議会、ひらつか防災まちづくりの会、女性防災クラブ平塚パワーズ、ひらつか災害ボランティアネットワークの皆さんにも参加いただき日頃の活動状況を伺いました。この場をお借りして御礼申し上げます。(は)

参考文献：認定NPO法人 かながわ 311 ネットワーク「マンション被災と災害復興」
マンションライフの未来を考える



センター情報

● 団体活動にお役立てください!

「若者のボランティア活動報告会」

今夏、ボランティア活動を体験し、ボランティア情報誌「ひらつかの空」の編集に関わった経験談を6名の学生が「ひらつか市民活動センターまつり」のパフォーマンス会場にて発表します。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 ● 11月27日(日) 10:35～11:10

場所 ● 崇善公民館1Fホール

定員 ● 40名 参加費 ● 無料



ボランティア情報誌「ひらつかの空」第3版を発行しました!

「ひらつかの空」は、ボランティアをやってみみたい方とボランティアを募集したい団体さんとを繋ぐ情報誌です。センターに配架していますので、ぜひお手にとってご覧ください。センターWebサイトからもダウンロードできます!

「NPO@リレートーク」時を超え 所を越えて助け合い ～困ったときはお互い様!～

いつまでも元気で自立した生活を送りたいと会員同士の助け合いに取り組んでいる、通称「NALC」の棟保さんをゲストに迎えます。

日時 ● 12月3日(土) 14:00～15:30

ゲスト ● 棟保禎彦氏 NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ湘南ブロック長

場所 ● ひらつか市民活動センター A 会議室

定員・対象 ● 20名・市民活動に関心のある方ならどなたでも 参加費 ● 無料



※上記イベントは感染症対策を徹底して開催いたします。ご協力をお願いいたします。

知っていますか? インボイス制度

インボイス制度は正式名称を適格請求書等保存方式と言い、請求書や納品書の交付や保存に関する制度です。導入時期は、令和5年(2023年)10月1日となっていますが、登録期限が令和5年(2023年)3月31日までとなっています。

利用を検討している団体さんは国税庁のWebサイトをご覧ください。



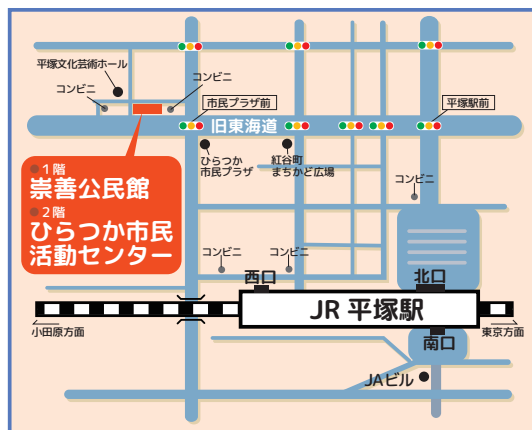
年末年始センターのご利用についてのお知らせ

- 閉館日… 12月28日(水)～1月4日(水) * * * * *
- 年始は1月5日(木)より開館いたします。
- 会議室の予約について… 令和5年3月28日(火)～4月4日(火)の予約は令和4年12月27日(火)から受け付けます。

編集後記

誰もが自分らしく生き生きと暮らしたいと思っています。しかしながら予期せぬ事件や事故に巻き込まれてしまうこともあります。今回、OHANAさん取材して、如何に当事者の皆さんの心に寄り添うことが大切かを学ばせていただきました。

センターとして何ができるか、これからも考えていきたいと思っています。(し)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2022年10月15日現在)

登録団体数 ● 463 団体

(内訳 市民活動団体…334 団体、一般団体…129 団体)

